

汐田総合病院の看護師育成と 地域看護師 について

2022/3/28



公益財団法人 横浜勤労者福祉協会

汐田総合病院

Ushioda General Hospital

Yokohama Workers' Welfare Association

看護部長

奥山洋子

汐田総合病院概要(鶴見区矢向)

一般病棟 (104床)

職員数 常勤約450人

回復期リハ (58床)

老人保健施設(別棟)併設 入所50人 通所30人

地域包括ケア (157床) 計319床

外来患者数450人/日 救急車2200台/年
平均在院日数

一般病棟 14日

回復期リハ 78日

地域包括ケア 35日



診療科

内科・総合診療科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科
麻酔科・婦人科・眼科・脳神経外科・精神科・脳神経内科
歯科口腔外科・泌尿器科・リハビリテーション科・救急科

私たちの目標

地域住民の生活を 医療と在宅ケアを通して支える

汐田総合病院
(地域生活支援病院)

うしおだ総合ケアセンター(老健、
在宅支援診療所、訪問看護ST,他)



地域包括ケア時代に向けた 汐田総合病院の看護師育成の目的

地域住民が、住み慣れた地域で安心して
住みつづけられるよう、

- 1・多様な場所で(医療・介護・福祉・予防) 治し、支えることのできる看護師を育成する
- 2・地域を知り、多職種協同の力を備えた 総合力のある看護師を育成する
- 3・こうした資質を持つ看護師を「地域看護師」と 呼び、その養成の重要性を内外に発信する

地域看護師養成の経緯-1

2016～2017年当時

① 汐田総合病院
看護師不足

② 入院病床が十分
開けられない

④ 東部看護師⇒
汐田出向による
偏在是正 病床稼働増

③ 東部病院治療後
回復期の患者が転院
できない

連携促進と転院患者増

地域ベッドが有効活用できない

地域看護師養成の経緯-2

- 2016年 看護師偏在是正の必要性を認識
出向にむけた準備
- 2017年 済生会横浜市東部病院から汐田総合病院
へ上半期6名下半期6名の看護師出向
看護師偏在是正の目的に加え、回復期医療の
特徴や継続医療についての学びも目的とした
- 2018年 同 上半期3名の看護師出向
- 2019年 同 上半期1名下半期1名の回復期病棟へ
看護師出向
- 2020年 同 上半期1名下半期2名
- 2021年 同 上半期1名下半期1名 合計22名

循環型地域看護師：つばさナース

- ⇒ 転院患者は、一般病棟・地域包括ケア病棟ともそれ以前より倍化した
- ⇒ 看護師看護師連携（看看連携）を基礎にした
た * 2021年度発展解消 病病連携の促進
- ⇒ 22名の出向で貴重な人材交流になった

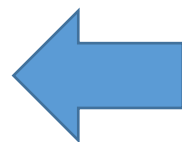


循環型地域看護師について

- ①中堅看護師として経験を積む中で仕事への向き合い方、育児・介護などの環境変化に対応
- ②地域包括ケア時代の看護を学ぶ
(6ヶ月～12か月)
- ③連携の促進に寄与する



所属施設に籍をおいたまま
他事業所での勤務を経験



所属施設へ
帰任



2020年～当初型 養成型地域看護師について

地域包括ケア時代の看護師キャリア支援

講義・演習・コンサルタント面談・ケーススタディ・意思決定援助

1年目

済生会横浜市
東部病院

2～4年目

汐田総合病院

5
年
目
選
択

東部
病院

汐田
総合
病院



2020年～当初型

養成型地域看護師：つばめナース

新卒看護師からの地域看護師養成
市内の看護学校の訪問実施

2020年2名のつばめナースが入職

⇒中途断念

2021年1名のつばめナースが入職

⇒2022年汐田総合病院へ



2022年度～改定型 養成型地域看護師について

地域包括ケア時代の看護師キャリア支援

講義・演習・コンサルタント面談・ケーススタディ・意思決定援助

1～2年目
汐田総合病院

3年目
済生会横浜市
東部病院

4年目
汐田総合病院
診療所・老健
訪問看護

5年目
汐田総合病院
他施設選択



2022年度～改定型

養成型地域看護師：つばめナース

新卒看護師からの地域看護師養成
所属を汐田総合病院へ

2022年2名のつばめナースが入職予定



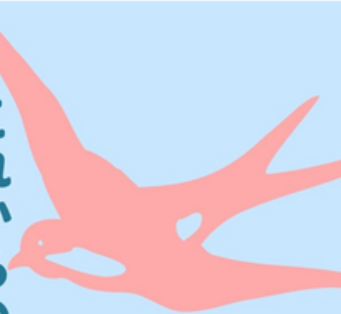
地域で羽ばたく

看護師を育てる

これからのナースの

新しいキャリアのカタチ

地域看護師



Design
Next
Medical Road

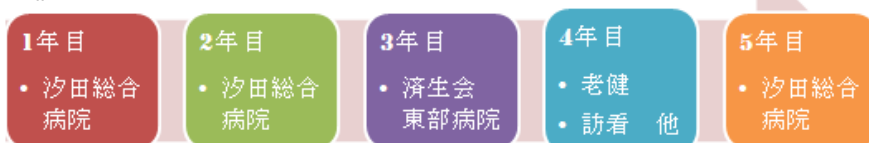
公益財団法人 横浜勤労者福祉協会
民医連 汐田総合病院
Ushioda General Hospital
Yokohama Workers' Welfare Association

地域看護師とは（2023年4月新規採用）

当院は、地域の総合病院として地域包括ケアシステム構築のため、横浜市北部地域の中核病院である済生会横浜市東部病院と協働し、ニーズに対応できる看護師を育てます。

具体的には、採用後は2年間の研修を経て、3年目に済生会東部病院にて研修を積み、4年目は当法人内での研修を行います。

■地域看護師育成計画



■給与

給与	初年度月給額：278,350円（推定） ※住宅手当・資格手当・夜勤手当（3回の場合）含む。
賞与	年2回（7月・12月）
福利厚生	職員寮（独身者用）・保育室・医療費共済・制服貸与等



■詳細

募集職種	地域看護師（常勤委託）	勤務形態	2交代制（変則3交代制） 日勤（A）8:30～17:00 日勤（B）11:30～20:00 夜勤 19:00～9:00 （明け2連休有り）
応募資格	看護師免許の取得者又は、 2023年3月免許取得見込み者。	休日	祝日を含む4週8休 （年間休日110日） 夏季休暇4.5日、年次有給休暇 他
募集人員	看護師2名	採用日	2023年4月1日
勤務先	5年目以降：汐田総合病院等法人内院所	選考フロー	書類選考後、筆記試験・適性検査・面接
応募方法	■新卒者 1. 写真付履歴書 2. 卒業見込証明書 3. 成績証明書 4. 健康診断書（学校・職場の写しで可） ※入職3カ月前に各自別途検診	送付先住所・連絡先	〒230-0001 横浜市鶴見区矢向1-6-20 TEL 045-574-1487 汐田総合病院 看護部 採用担当 宛 E-mail kango@ushioda.or.jp.

今後の課題



- ①「循環型」の当院からの出向実現
- ②「養成型」の従来型・2022年度改定型
地域看護師の育成
- ③地域の事業所(老人施設・訪問看護
ステーション等)との連携のあり方
- ④養成校への案内・アピール

